

# 4月の衛研検査情報

～トピックス～

## 平成28年度 医動物・種類同定検査のまとめ（10～3月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を明らかにすることによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

**主な結果** 平成28年10月から平成29年3月の種類同定検査件数は、11件でした。内訳は昆虫類5件（ハエ目3件、カメムシ目1件、コウチュウ目1件）、その他の節足動物6件（ダニ目1件、クモ目5件）でした。

## 食品中のアフラトキシン検査

微量汚染物担当では、食品中のアフラトキシン検査を行っています。今回は、平成28年11月、12月および平成29年2月に食品専門監視班が収去した食品の検査結果を報告します。

**主な結果** 11月に市内を流通している食品2件（牛乳、特別牛乳各1検体）について、アフラトキシンM1の検査を行いました。また、12月に6件（アーモンド、カシューナッツ各1検体、アーモンドパウダー、乾燥いちじく各2検体）、2月に5件（クルミ、ターメリック、落花生各1検体、ブラックペッパー2検体）について、総アフラトキシン（アフラトキシンB1、B2、G1、G2）の検査を行いました。その結果、全ての検体で不検出でした。

《参考》アフラトキシンM1は、人や動物が摂取したアフラトキシンB1が体内で変換された代謝物です。汚染された飼料を摂取した牛の乳（Milk）中に検出されたことから、アフラトキシンM1と命名されました。そのため、乳にのみ規制値が設定されています。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 平成29年3月は、大麻（マリファナ）、横浜市インフルエンザ情報、クロストリジウム・デフィシル感染症、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多く見られました。総件数は97,380件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。